

放課後等デイサービス 自己点検評価書

(事業者名)

[様式 11] 自己点検評価書

(1) 事業の目的、運営方針・理念

【事業の目的】
【運営方針・理念】

(2) 沿革と現況等

【沿革】
【現況】 ①事業者（設置者） i) 名称 ii) 所在地 ②事業所 i) 名称 ii) 所在地 ③利用障害児数、職員数 <input type="checkbox"/> 利用障害児数（ ）人 <input type="checkbox"/> 職員数 常勤（ ）人 非常勤（ ）人
④【運営規程】 設置者・管理者向けガイドラインに示される運営規程を定めているか。 <input type="checkbox"/> 定めている <input type="checkbox"/> 定めていない （いずれかに☑すること）
⑤【放課後等デイサービス計画】 児童発達支援管理責任者向けガイドラインに示される放課後等デイサービス計画を作成しているか。 <input type="checkbox"/> 立てている <input type="checkbox"/> 立てていない （いずれかに☑すること）
⑥【児童発達支援管理責任者】 <input type="checkbox"/> 氏名（ ） <input type="checkbox"/> 専門性に関する記述（50文字程度で）

(3) 法令が定める基準（必須事項）に基づく自己評価

認証申請に係る事業所が「指定事業所」である場合にあっては、次に掲げる「基準1関係」から「基準6関係」までの事項を満たすことも、必須である。

- ※1 「基準（ ）」の数字は、「JDDnet が定める基準」の番号に準じている。
- ※2 「指定事業所」：児童福祉法第21条の5の3第1項による都道府県知事の指定に係る指定放課後等デイサービス事業所
- ※3 「基準省令」：児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成24年2月3日厚生労働省令第15号）

基準1関係 環境・体制（基準省令第66条関係）

必須1-① 利用定員は10人以上としているか

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-② 児童指導員、保育士又は障害福祉サービス経験者を置き、これらの従業者の合計数が次のイ又はロに掲げるとおりとしているか

イ 障害児の数が10人までのもの 従業者の数2人以上

ロ 障害児の数が10人を超えるもの 従業者の数2人に、障害児の数が10人を超えて5人又はその端数を増すごとに従業者の数1人を加えた数以上

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-③ 児童発達支援管理責任者 1人以上としているか

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-④ ②の従業者の1人以上は、常勤としているか

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-⑤ ②の従業者の半数以上は、児童指導員又は保育士としているか

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-⑥ ③の児童発達支援管理責任者のうち1人以上は、専任かつ常勤としているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-⑦ 指導訓練室のほか、デイサービスの提供に必要な設備及び備品等を設けているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-⑧ ⑦の指導訓練室は、訓練に必要な機械器具等を備えているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須1-⑨ ⑦の設備及び備品等は、障害児の支援に支障がない場合を除き、専ら当該デイサービスの事業の用に供するものとしているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

基準2関係 業務改善（基準省令第70条の2条関係）

必須2-① デイサービスを利用しようとする障害児が、これを適切かつ円滑に利用できるように、その事業の内容に関する情報の提供を行っているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須2-② 広告をする場合、その内容を虚偽又は誇大なものとしていないか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須2-③ その提供するデイサービスの質の評価を行い、常にその改善を図っているか
満たしている 満たしていない
その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須2-④ ③の評価及び改善を行うに当たって、次に掲げる事項について、自ら評価を行うとともに、当該デイサービスを利用する障害児の保護者による評価を受けて、その改善を図る

ているか

イ 当該デイサービスを利用する障害児及びその保護者の意向、障害児の特性、障害の特性
その他の事情を踏まえた支援を提供するための体制の整備の状況

ロ 従業者の勤務の体制及び資質の向上のための取組の状況

ハ 当該デイサービスの用に供する設備及び備品等の状況

ニ 当該デイサービスの提供に係る業務の改善を図るための措置の実施状況

※ 上記の「保護者による評価」に当たっては、「放課後等デイサービスガイドライン（厚生労働省）」の末尾の「保護者向け放課後等デイサービス評価表」と合わせて行うことが適切である。

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

必須2-⑤ おおむね1年に1回以上、④の評価及び改善の内容をインターネットの利用その他の方法により公表しているか

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

基準4関係 関係機関や保護者との連携（基準省令第70条の2条関係）

必須4-① その提供するデイサービスの質の評価及び改善を行うに当たって、次に掲げる事項について、自ら評価を行うとともに、当該デイサービスを利用する障害児の保護者による評価を受けて、その改善を図っているか

イ 関係機関及び地域との連携、交流等の取組の状況

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

基準5関係 保護者への説明責任等（基準省令第70条の2条関係）

必須5-① その提供するデイサービスの質の評価及び改善を行うに当たって、次に掲げる事項について、自ら評価を行うとともに、当該デイサービスを利用する障害児の保護者による評価を受けて、その改善を図っているか

イ 当該デイサービスを利用する障害児及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の援助の実施状況

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

基準6関係 非常時等の対応（基準省令第70条の2条関係）

必須6-① その提供するデイサービスの質の評価及び改善を行うに当たって、次に掲げる事項

について、自ら評価を行うとともに、当該デイサービスを利用する障害児の保護者による評価を受けて、その改善を図っているか

イ 緊急時等における対応方法及び非常災害対策

満たしている 満たしていない

その理由・課題（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

(4) JDDnet が定める基準に基づく自己評価

基準 1 環境・体制整備

1-1 利用定員が発達障害の指導訓練室等スペースの関係で適切であるか

(1) 1-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

1-2 発達障害に関して専門的知見を持った職員の配置及び配置数は適切であるか

(1) 1-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

1-3 事業所の設備等において、発達障害への配慮が適切になされているか

(1) 1-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

1-4 発達障害に配慮した環境調整が行われているか

(1) 1-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

【基準 1 の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

基準 2 業務改善

2-1 業務改善を図るための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

(1) 2-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

2-2 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

(1) 2-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

2-3「厚労省ガイドライン」による自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

(1) 2-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由 (満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載)

2-4 職員の資質の向上を行うために、発達障害に関する研修の機会を確保しているか

(1) 2-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由

【基準 2 の自己評価と改善・向上方法 (将来計画)】

基準3 適切な支援の提供

3-1 発達障害のアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

(1) 3-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-2 子どもの状態を把握するために、発達障害のアセスメントツールなどを使用しているか

(1) 3-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-3 発達障害の活動プログラムの立案をチームで行っているか

(1) 3-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-4 発達障害の活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

(1) 3-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-5 平日、休日、長期休暇に応じて、発達障害の課題をきめ細やかに設定して支援しているか

(1) 3-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-6 子どもの発達障害の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか

(1) 3-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-7 発達障害の支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

(1) 3-7 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-8 発達障害の支援終了後には、職員間で必ず打合せをするなど、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などの情報を共有しているか、又はその工夫がなされているか

(1) 3-8 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-9 日々の発達障害児の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

(1) 3-9 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-10 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

(1) 3-10 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

3-11「厚労省ガイドライン」の総則の「基本活動」(1 (3) ② ア・イ・ウ・エ)を複数組み合わせる支援を行っているか

(1) 3-11 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

【基準3の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

基準 4 関係機関や保護者との連携

4-1 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できるようになっているか

(1) 4-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-2 保護者が許容している場合において、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか

(1) 4-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-3 医療的対応が必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

(1) 4-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-4 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

(1) 4-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-5 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの発達障害の支援内容等の情報を提供するなどしているか、又はその態勢ができているか

(1) 4-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

(1) 4-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-7 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会を設けることができるか

(1) 4-7 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-8(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか

(1) 4-8 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

(1) 4-9 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

4-10 保護者の発達障害への対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング(P34・P42・P47 参照)等の支援を行っているか

(1) 4-10 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

【基準4の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

基準 6 非常時等の対応

6-1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

(1) 6-1 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

6-2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

(1) 6-2 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

6-3 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

(1) 6-3 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

6-4 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

(1) 6-4 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

6-5 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

(1) 6-5 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

6-6 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

(1) 6-6 の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

【基準6の自己評価と改善・向上方法（将来計画）】

(5) 施設が保護者の目線で評価した基準（A・B・C）と独自の基準による自己評価

基準 A、B、C と独自の基準

A 子ども自身は通所を楽しみにしているか

(1) A の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

B 保護者は事業所の支援に満足しているか

(1) B の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

C 保護者が活動の様子を自由に見学できるようになっているか

(1) C の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

D ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(1) D の自己判定

十分満たしている 満たしている ほぼ満たしている 満たしていない

(2) その理由（満たしている場合はその理由を、満たしていない場合はその課題を記載）

※以降必要に応じて発達障害に配慮し対応している項目を独自の基準として D 以降 (D,E,F・・・) に追加してください。

例えば、①観察カメラの設置、②デイサービス向上のための証跡記録の保存体制の整備、③野外活動の導入、④医療スタッフの配置等発達障害に対応する項目について記載してください。特別記載する事項がない場合は、D に関しては項目として削除しても構いません。